

# 年頭の「あいなつ

## 『心やすらぐ住みよしの郷 御杖』

### の実現に向けて



●御杖村長●  
鈴木 仁彦

新年明けましておめでとうござ  
います。

村民の皆様には、ご健勝で輝か  
しい新春をお迎えのことと心から  
お慶び申し上げますと共に、村政  
各般にわたるご支援とご協力をい  
ただいておりますことに対し、衷  
心より厚くお礼を申し上げます。

この度、村民の皆様からの温か  
いご支持と負託を賜り、2期目の  
村政を担う榮譽を与えていただき  
ました。本当に、ありがとうございます。

いました。

改めてその職務の重要性を深く  
認識し、責務の全うに全力を傾注  
いたす所存でございます。

さて、国政は、3月11日に発生  
した東日本大震災を始め、これに  
起因する福島第1原発の放射能漏  
れ事故や、危機的な財政状況に加  
え超円高による日本経済の低迷等  
課題が山積し、内政、安全保障も  
含めた外交とも非常に厳しく正に  
内憂外患状況にあります。

奈良県においては、9月に台風  
12号の襲来を受け、県南部に甚大  
な被害を及ぼしました。

御杖村においても、人的被害は  
無かったものの、村の基幹産業であ  
る農林業の被害を始め道路や河川  
に多大の被害を被ったところです。

今、国や奈良県の援助を受け、  
元の村に戻すべく努力を行ってい  
るところであり、1日も早い災害  
復旧に全力を挙げ取り組んで参り  
たいと思っております。

また、今回の震災や台風を教訓  
として、防災体制の充実を図り、  
関係機関のご協力を得て「安全・  
安心の村づくり」を進めます。

次に、村活性化のため、一昨年  
に平城遷都1300年祭を契機に  
取り組んだ「伊勢本街道」を中心  
とした観光事業を今後も引き続き  
実施し、過疎と少子高齢化対策と  
しての若者定住事業の促進や子育  
て支援事業の充実、高齢者をはじ  
め、すべての人に優しい「差別の  
ない明るい村づくり」に努める所  
存であります。

また、基幹産業であります農林  
業の振興を図るための担い手対策  
や獣害対策、更には、山林の間伐と  
間伐材の有効利用を促進し、山林

の荒廃を防ぐと共に、遊休農地及  
び耕作放棄地の解消を図るため、  
県営農地環境整備事業の推進や集  
落営農組織の強化により、農地の  
荒廃を防ぎ、生産意欲・生産力の  
向上に取り組んでまいります。

次に、生活環境整備としては、  
村道三畝線・白髪線道路改良事業  
の早期完成を目指すと共に村道井  
出谷太良路線道路改良事業への着  
手や県道・国道についても奈良県  
と協働し早期改良を実施すること  
により、人口減少が避けられない  
村に交流人口を増やし活気に満ち  
た元気な村づくり施策を推進して  
いきたいと考えています。

今後益々厳しくなると予想され  
る社会情勢ではありますが、「創意  
と工夫」を凝らし、更なる「行財政  
改革」に取り組み、「第3次 御  
杖村長期総合計画」を基に、「心  
やすらぐ住みよしの郷 御杖」実現  
のため、チャレンジし続ける所存  
でありますので、村民の皆様のお  
力添えを賜りますようお願いを申  
し上げます。

結びに、新しい年が皆様にとっ  
て穏やかで、実りのある年となり  
ますよう心からご祈念申し上げます。  
年頭のご挨拶といたします。

# 新年の「あいなつ

## 「絆と地域のつながり」を大切に



●御杖村議会議長●  
種 村 悦 郎

新年明けまして、おめでとうござ  
います。

年頭にあたり、御杖村議会を代  
表して村民の皆様にご挨拶を申し  
上げます。

皆様におかれましては、健康で  
希望に満ちた初春を迎えられまし

たことをお慶び申し上げます。

昨年中は、村民皆様のご支援に  
より、公務に精励することができ  
ましたことを、心から御礼申し上  
げます。

さて今日、日本を取り巻く国際  
的な社会・経済情勢は、ヨーロッ

パ諸国の金融不安や中国やインド  
等の東アジア諸国の台頭と投機等  
の影響で極度の円高により、国際  
的な地位と経済の低迷状況にあり  
ます。加えて、昨年3月11日に発  
生した東日本大震災の復旧・復興  
問題と併せて原子力エネルギーへ  
の依存の見直し等々、国民に大き  
な不安が怒濤のごとく押し寄せて  
きております。このように、国内

外には解決しなければならぬ課  
題が数多く存在しますが、地方行  
政におきましても、そのあり方が  
問われており、自己決定・自己責  
任による自治体運営が求められる  
など、真の地方分権社会の確立が  
求められています。

我が御杖村におきましても、昨  
年伊勢湾台風以来ともいわれる台  
風12号により大きな打撃を被りま  
したが、被災しても決してあきら  
めない先人達の精神を引き継ぎ、  
現在復旧に努力しているところで  
す。考えてみると、東北の震災や  
紀伊半島の台風の被災状況におい  
て、今こそ隣人との絆、そして地

域とのつながりが何よりも大切で  
あることを痛感しています。私達  
の村には、若年層の流出や高齢  
化・過疎化の大きな課題を抱えて  
おりますが、この「絆と地域のつ  
ながり」は内外に誇れるくらい  
持っています。

我々議会議員は、災害に強い村  
づくりに努力していかねばなりま  
せんが、この「絆とつながり」を  
なくして防災・減災は成すことが  
できません。また、防災はもとよ  
り、基幹産業の振興や福祉・教育  
の充実といった分野も皆様の協力  
なくして、課題の克服はあり得ま  
せん。我々議員は行政とともに心  
を新たに、**「心やすらぐ住みよ  
しの郷 御杖」**を村民の皆様と実  
感できるよう、その実現を目指し  
努力して参る所存でありますので  
皆様方のご指導、ご鞭撻を賜りま  
すようお願い致します。

最後に、本年も皆様健康でお  
過ごしいただけますようご祈念申  
し上げまして、年頭のご挨拶とさ  
せていただきます。